



令和7年5月28日発行

## 『食の都庄内』旬だより

### 【庄内産さくらんぼ】



風に負けず働くミツバチ



収穫を迎えた果実(6月下旬)

#### 1 初夏の味覚「庄内産さくらんぼ」

- ・6月に入ると山形県の初夏の味覚「さくらんぼ」の収穫が庄内地域でも始まります。
- ・庄内地域では、平成3年からの「紅秀峰」の栽培実証をきっかけとして栽培が拡大し、現在では、鶴岡市櫛引・羽黒地域を中心に栽培されています。栽培面積は、約30haで、県全体(2,800ha)の1%程度です。
- ・収穫は、6月初旬の「紅さやか」から始まり、6月中旬の「佐藤錦」、「やまがた紅王」、6月下旬の「紅秀峰」まで続きます。

#### 2 「庄内産さくらんぼ」が実を結ぶまで

- ・庄内地域は風が強いため、開花期に防風ネットを設置したり、受粉用のハチを早い時期から導入したりするほか、かん水を確実に行うことで結実を確保しています。また、樹の高さを低く栽培したり、雨よけハウスを強化する等、栽培方法を工夫しています。
- ・こうした生産者の努力の結果、昨年(2024年)の6月20日に行われた第2回やまがた紅王大玉コンテストでは鶴岡市の生産者が第3位に入賞し、庄内産さくらんぼの品質の高さが評価されました。

#### 3 購入できるところ

- ・6月～7月上旬にかけて、鶴岡市を中心に農産物直売所や観光さくらんぼ園等で販売されています。また、通信販売でも購入できます。詳細は「食の都庄内」HPでご確認ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOAL

